

コロナ変異種、ウイルス突起分子に変化…感染速度は従来の1.7倍か

2020年12月22日(火)配信読売新聞

英国で流行が拡大する変異した[新型コロナウイルス](#)は、英エディンバラ大などの研究で、現在世界で流行するタイプに比べ、ウイルス表面にあるスパイク(突起)先端の分子1個が変化していることがわかった。

他にも変化した分子はあるが、スパイクは細胞に感染する時に必要な構造に当たる。変異種が拡大した9月以降に英国で病状が重くなるなどのデータはなく、専門家は冷静に分析を待つよう呼びかけている。

今回のウイルスは、今年3月以降に出現した欧州型(D614G)がさらに変異したもので、遺伝情報の変化の特徴から「N501Y」と呼ばれている。

英医療当局の諮問機関の発表によると、この変異種は欧州型など他の[新型コロナウイルス](#)に比べ、約1.7倍速く感染が広がっている可能性があるという。デンマークやオーストラリアなどの感染者は英国由来とみられるが、最初に変異したウイルスがロンドン発祥か他の地域から持ち込まれたのかはわかっていない。

欧州各国は、変異種の流入で医療が逼迫したり、変異がさらに重なって病原性が強まったりすることを警戒している。諮問機関は、英国内の死亡率や重症化率のデータの検証を急ぐよう求めている。

新型コロナは昨年12月に中国で見つかった「初期型」は消え、現在は欧州型が世界の主流だ。その後もデンマークで変異が見つかり、感染するミンクが大量処分された。新型コロナは約3万個の遺伝情報を持ち、1年間に約24個のペースで変化が起きるとされるが、変異種は全部で23個の変化が確認されている。

ワクチンの効果への影響を心配する声もある。米製薬大手[ファイザー](#)などのワクチンは欧州型に対応しているが、スパイク先端だけでなく他の部分にも免疫が反応し、ウイルスを攻撃するように設計されているという。森田公一・[長崎大](#)熱帯医学研究所長(ウイルス学)は「ワクチンが全く効かないような変異は、簡単には起きない。まずは死亡率や重症化率の変化などのデータを見極め、対応を考える必要がある」と話す。

コロナ変異種「制御不能でない」WHOが見解

2020年12月22日(火)配信 AFPBB News

【AFP＝時事】[世界保健機関](#)(WHO)は21日、英国で確認された感染力の強い[新型コロナウイルス](#)変異種はまだ制御不能ではなく、既存の措置を通じて抑えられるとの見解を示した。

WHOで緊急事態対応を統括するマイケル・ライアン(Michael Ryan)氏は記者会見で、これまでの新型ウイルスの流行では、これよりも大幅に速いペースで感染者が増加していた時期が複数あったが、制御できたと説明。「従って今回の状況はそういう意味で制御不能ではない。しかし放っておくわけにはいかない」と述べた。

マット・ハンコック(Matt Hancock)英保健・社会福祉相はこれに先立ち、変異種が「制御不能」となっていると指摘。英国当局は、変異種の感染力が主要種より70%強いと明らかにしていた。ライアン氏は「現在導入している措置は正しいものだ」と説明。「これまで行ってきたことを続ける必要がある。このウイルスを確実に制御するため、これまでよりもやや集中的に、やや長期間行う必要があるだけだ」と述べた。

[新型コロナウイルス](#)は南アフリカでも別の変異種が確認されており、同国と英国に対しては、約30か国が[感染拡大](#)阻止のため渡航禁止措置を取っている。

重症や致死率上昇根拠なし ウイルス変異種でWHO

2020年12月22日(火)配信共同通信社

【ジュネーブ共同】[世界保健機関](#)(WHO)のテドロス事務局長は21日の記者会見で、英国などで感染が急増している[新型コロナウイルス](#)の変異種について「現時点では重症率や致死率を上げるとい根拠はない」と述べた。同時に、[感染拡大](#)防止策を徹底することが重要だと訴えた。

新型コロナの技術責任者を務めるバンケルコフ氏は、1人の感染者が平均何人にうつすかを示す指標「実効再生産数」が1・1から1・5に上昇したとの報告を英国から受けたとしつつも、症状などについては従来通りだとした。英国の変異種は14日にWHOに通知されたという。また南アフリカで検出された変異種は、英国のものとは別だと明らかにした。

テドロス氏は「ウイルスは徐々に変異していくものだ」と述べ、変異自体は予期されたことで、過度に特別視するものではないとの認識を表明。「変異は自然なことで、できるだけ早く覚知することこそが重要だ」と述べた。

WHO 事務局長「変異は自然」 英の種、他5カ国で確認

2020年12月22日(火)配信朝日新聞

英国で確認された、従来より感染が広がりやすい[新型コロナウイルス](#)の変異種について、[世界保健機関](#)(WHO)のテドロス・アダノム事務局長は21日の記者会見で「ウイルスは時間とともに変異する。それは自然なことだ」と語った。社会的距離の確保など、これまでの[感染予防](#)策の徹底を呼びかけた。

感染症専門家のマリア・ファンケルクホーフェ氏によると、英国以外でこの変異種が確認されたのは、デンマークで約10例、豪州、アイスランド、イタリア、オランダで1例ずつだという。南アフリカで最近確認されたのは、別の変異種だという。

緊急対応責任者のマイク・ライアン氏は「この数カ月間に多くの変異種が現れたが、重症化したり、診断を免れたり、ワクチンの効果から逃れたりしたものはなかった」と語り、「すべてのウイルスの伝染を止める必要がある。(手洗いなどの)感染防止策はどんな変異種にも通用する」と強調した。

英コロナ変異種、影響拡大 複数国で確認、欧州厳戒 40カ国、入国停止決定

2020年12月22日(火)配信共同通信社

【ロンドン共同】英国で[新型コロナウイルス](#)変異種の感染が急増し、フランスとドイツは20日、英国からの入国停止を決めた。BBC放送によると、欧州以外も含め40カ国・地域以上が21日までに英国発の旅客便受け入れの停止などを決定し、水際の厳戒態勢が強化された。ロイター通信などによると、変異種はイタリアやオランダ、デンマーク、南アフリカ、オーストラリアでも確認され、影響が広がった。

欧州連合(EU)は加盟国大使会合で緊急対応を協議。クリスマスと年末年始に市民生活や経済が一段と制約を受けることが懸念されている。

日本では変異種が確認されておらず、加藤勝信官房長官は21日の記者会見で「もともと英国を上陸拒否対象国に指定しており、入国を原則禁止している」とし、対策を維持する考えを示した。

フランスは21日午前0時(日本時間午前8時)から48時間、英国からの入国を全て停止。英メデ

イアによると、英仏海峡の英側にあるドーバー港周辺では大型トラックの渋滞が発生した。英国内では物流の混乱で食料品の供給不足などへの不安の声が出始めた。

ドイツのシュパーン保健相は地元メディアに英国発の旅客便受け入れを停止し、入国も21日から規制すると表明した。

各国メディアによると、英国からの旅客便受け入れの一時停止を決めた他の欧州諸国はアイルランドやイタリア、オランダ、ベルギーなど。カナダやイラン、イスラエル、トルコなど域外の国々も停止措置を取った。

ベルギー、オランダと英国を結ぶ高速鉄道ユーロスターも21日からの運行停止が決まった。

英政府などによると、今回の変異種は9月に出始め、10月に確認された。従来のウイルスより感染力が最大70%強く、全ての感染例に占める割合は、ロンドンでは11月18日に28%だったが、12月9日には62%に上昇。13日時点で1108の症例があった。

英国で接種が始まった米製薬大手[ファイザー](#)製ワクチンの変異種への効果について、英政府は「効かないという証拠はない」と説明。シュパーン氏は効果を発揮するとの見方を示した。